

令和元年6月13日 開会

令和元年 第2回 東松島市議会定例会

議員一般質問通告書

東松島市議会

議員一般質問 目次

令和元年 第2回 定例会

順位	氏名	件名	頁
第1位	土井 光正	1 通学路の再点検で児童・生徒の安全を確保せよ	3
		2 市民に防災士育成の研修を実施し、防災・減災の意識を高め、災害に強いまちづくりを目指せ	4
		3 「道路通報システム」の整備で安全・安心な市民の道路を目指せ	5
第2位	熊谷 昌崇	1 金融教育について	6
第3位	石森 晃寿	1 令和の果樹の花里づくりについて	7
		2 幼児教育・保育の無償化について	8
		3 東松島市行政組織規則等の見直しについて	9
第4位	齋藤 徹	1 深谷地区ほ場整備事業計画変更ならびに北赤井地区市道拡幅整備計画を問う	10
第5位	阿部 とし丞	1 学校への携帯・スマホの持ち込みについて伺う	11
		2 通学時の安全確保について伺う	12
第6位	五ノ井 惣一郎	1 教育振興について問う	13
		2 柳の目地区開発事業を問う	14
第7位	上田 勉	1 県立都市公園矢本海浜緑地整備の充実を図れ	15
		2 キャッシュレス化に伴う市民の利用拡大施策を問う	16
第8位	小野 恵章	1 教育方針、学校運営を問う	17
		2 観光資源の発信力を高めよ	18

順位	氏名	件名	頁
第9位	櫻井 政文	1 新天皇新皇后両陛下のご即位を祝う祝賀行事について	19
		2 自治会集会所のエアコン設置に際して、予算組みをする考えは	20
		3 スマホ依存による諸問題について	21
		4 A I時代に対応できる人材育成について	22
第10位	手代木 せつ子	1 学校給食残渣の資源化について	23
		2 総合案内受付の設置について	24
第11位	滝 健一	1 子供の命と健康を守ろう	25
第12位	長谷川 博	1 市営住宅の管理・運営について	26
		2 防災盛り土の保全等について	27
第13位	佐藤 富夫	1 「働き方改革」により、行政経営にどう反映させるか	28
第14位	小野 幸男	1 産業部所管に関わる取り組みを問う	29
		2 新教育長の所見を伺う	30

【質問者数 14人・質問件数 28件】

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>土井 光正</p>	<p>1. 通学路の再点検で児童・生徒の安全を確保せよ</p>	<p>先月、大津市で多くの幼児の死傷者を出した交通事故は、日本中に悲しみを与えた痛ましい事故であった。その後も、児童・生徒を巻き込む交通事故が全国的に多発している。本市の交差点や歩道整備状況、および全国的な高齢者運転の事故多発状況を考えると、同様な事故は本市のどこで起きてもおかしくない状況であると思う。これらのことを踏まえ次の点について伺う。</p> <p>(1) 学校の通学路については、過去の点検による危険箇所を把握していると思うが、今回の大津市の事故を受け、視点を変えた点検はどのように行っているのか。また、これまでの点検による危険箇所の解消はなされているのか。</p> <p>(2) 本市においては、交差点における自転車の事故も多いと聞くが、小・中学校における自転車走行のマナーや安全についての研修等はどのように行っているのか。</p> <p>(3) 今、全国的に自転車の接触等による歩行者の死傷事故で高額化する賠償について問題となっている。この件に関する認知度が低いのか自転車保険の加入率も少ないと聞き及んでいる。特に本市のほとんどの道路は、自転車歩行者道が整備されていないため、やむを得ず歩道を自転車が走行している現状もあり、狭い歩道での歩行者との接触事故のリスクは高いと考える。また、高齢者の自動車免許返納による自転車走行も多くなってきているので転倒等の事故も懸念される。そこで、自転車利用者に自転車保険の加入や、歩道での押し歩きの義務付けを課するような東松島市自転車条例(仮称)を規定すべきと考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第1位</p> <p>土井 光正</p>	<p>2. 市民に防災士育成の研修を実施し、防災・減災の意識を高め、災害に強いまちづくりを目指せ</p>	<p>これから梅雨の大雨や台風発生の時期を迎えるが、昨年の全国的な猛暑や大雨等による災害で多くの犠牲者が出たことは記憶に新しい。また、各地の至る所で大きな地震が発生しており、日本全国、いつどこで何があってもおかしくない自然現象は、本市においても例外ではないと考える。いつまでも住み続けたいまちとして安全・安心を願う市民に対し、今後は、東日本大震災で多くの尊い人命を失った本市であるからこそ、防災・減災を行政の主流として考えるべきであると思うがいかがか。</p> <p>また、行政だけの力ではなく市民の力と協働しながら取り組むために、広く市民に防災士育成研修の実施で、多くの防災士を誕生させ、地域防災力の向上を目指す防災リーダーとして市民による「自助・共助」を推進するべきと考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>土井 光正</p>	<p>3. 「道路通報システム」の整備で安全・安心な市民の道路を目指せ</p>	<p>震災復興計画期間完了まであと2年となり、全ての復興整備完了に向け工事を加速化しているが、復興事業の入らない地域においては、道路の管理が行き届かない箇所も多く見受けられる。担当部署において、定期的な道路パトロールは行っていると思うが、市道の管理延長が長いため、手薄になっているのではないかと思慮される。</p> <p>そこで、市民からの道路の不具合情報をリアルタイムにスマホや携帯のカメラで撮影し、そのままメールで発信してもらうことにより、写真の撮影情報で現場位置の確認や不具合状況等を把握することができ、早期の対応で事故等を未然に防ぐことができるものとする。また、道路パトロールでは、見つけにくい重要な不具合も、生活現場密着の市民の目で見つけ出すことも1つのメリットとする。</p> <p>これらのことを「道路通報システム」として整備し、安全・安心な市民の道路を目指すべきであるとするがどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第2位</p> <p>熊谷 昌崇</p>	<p>1. 金融教育について</p>	<p>以前、平成28年12月の定例会に金融教育について質問をしたが、教育長が変わられたので、考えを伺う。</p> <p>今年の5月22日に、金融庁の審議会が資産寿命についての指針案をまとめた。人生100年時代とも言われる長寿社会において、どのように資産を蓄えればよいのかについて、長寿化に合わせて資産の寿命も伸ばしていく必要があるとしている。政府広報オンラインを見ると、暮らしに役立つ情報の中に『知らないと損する？最低限身に付けておきたい「金融リテラシー（知識・判断力）」』という項目や金融広報中央委員会の「知るぼると」等で啓発活動をしているが、一般的にはあまりなじみがないと思う。しかしながら、これからの時代、金融の知識は必須と思う。昔は汗水流して働く事が美德であったが、現在はAIの導入により、今ある職業が減っていく時代であり、ただ一生懸命汗水流せば何とかなる時代ではなく、終身雇用が崩壊していくような時代で、政府自ら副業を推進する時代である。それらを鑑みると、子供たちに年金や税金、確定申告やNISA、インフレ、超低金利等の最低限の知識を学ばせるべきと思うがいかに。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第3位</p> <p>石 森 晃 寿</p>	<p>1. 令和の果樹の花里づくりについて</p>	<p>市で所有する野蒜地区の被災元地の有効利用について、「令和の果樹の花里づくり」と銘打って、令和元年にふさわしい壮大な構想を始動させた手腕は、市長に敬意を表する。その壮大な構想が具現化されることにより、雇用、観光、農産加工等の経済効果が期待されるが、以下の点について伺う。</p> <p>(1) この構想を具現化するには、財源が必要になるが、国や県の支援はあるか。また、具現化することによりどのような経済効果が考えられるか。</p> <p>(2) 11月に果樹の試験栽培を実施し、一定期間の後、果樹の種類が確定すると思うが、その後は、民間に事業主体を移すのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第3位</p> <p>石 森 晃 寿</p>	<p>2 . 幼児教育・保育の無償化について</p>	<p>政府は、平成31年2月12日、令和元年10月から幼児教育・保育の無償化を実施するための「子ども・子育て支援法改正案」を閣議決定した。主な改正点としては、幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する3歳から5歳までの子供たちの利用料が無償化される。また、0歳から2歳児の子供たちの利用料については、住民税非課税世帯を対象として無償化される。市長も幼児教育の無償化を選挙公約の一つとしているので以下の点について伺う。</p> <p>(1) 無償化により、現状よりも、さらに保育ニーズが高まると考えられる。市は、無償化による保育ニーズがどの程度高まると見込んでいるか。受け皿の確保は、万全か。</p> <p>(2) 無償化による、市立矢本中央幼稚園は、どのように変化していくのか伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長・教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第3位</p> <p>石森 晃寿</p>	<p>3. 東松島市行政組織規則等の見直しについて</p>	<p>平成19年度から市の職員を削減している中、地方分権の進展や多様化、高度化および複雑化する社会経済状況の中で、住民ニーズに迅速に対応し、行政サービスを提供していくためには、柔軟で効率的な組織体制が求められているということで「班制」を導入し、現在に至っている。しかし、「班制」は、市民にとって良かったのか。また、「班制」は班長に責任が偏っている状況である。市長は、旧矢本町職員として29年間勤務し、豊富な経験を持っているので、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 市民に分かりやすい、利用しやすい、職員が責任感を持って仕事しやすい「係制」に移行して係長、課長補佐のポストを復活するよう東松島市行政組織等の見直しをする考えはないか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第4位</p> <p>齋藤 徹</p>	<p>1. 深谷地区ほ場整備事業計画変更ならびに北赤井地区市道拡幅整備計画を問う</p>	<p>深谷地区ほ場整備事業は令和2年度の事業採択が見送られ、令和3年度以降に事業採択となる予定である旨を、去る平成31年4月4日に上区地区センターを会場とした説明会において市、県、土地改良区職員より説明がなされた。</p> <p>地域の関係者は、本事業に期待感を持ち、できる限りの協力を惜しまぬ姿勢をみせていただけに、現在の状況に困惑していることから、以下に問う。</p> <p>(1) 本件の基盤整備関連経営体育成等促進計画書作成の遅れにつながった要因である地域内での合意形成の詳細は。</p> <p>(2) 今後、進展が見られた場合の地域関係者への説明会の開催等、本市としての対応は。</p> <p>(3) 北赤井地区の市道拡幅整備計画の深谷地区約1,700m分への影響と、現道拡幅分約2,500m分の計画等への変更、修正は。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第5位</p> <p>阿部としゑ</p>	<p>1. 学校への携帯・スマホの持ち込みについて伺う</p>	<p>全国的にも、小・中学校で携帯やスマホを持っている人は増えていると考えられる。こうした中、各地で携帯・スマホを学校に持ち込むことについて検討されている。賛否両論、メリット・デメリットがあると思われるが、今後の本市の小・中学校への携帯・スマホの持ち込みについて考えを伺う。</p> <p>(1) 小・中学校で携帯・スマホを持っている人の数を調査しているか。(または、学校へ持ち込んでいる人の数)</p> <p>(2) これまで、携帯・スマホが原因と思われる問題はなかったか。 特に、スマホは高額であると聞くが、どんなことでも詳しく調べることができるため辞書代わりや、何かあっても家族にすぐ連絡できる等のメリットがたくさんある。その一方、LINE等のSNSで友だちや仲間を誹謗中傷したり、悪い仲間にひき入れられたりとデメリットも考えられる。</p> <p>(3) 生徒や先生方、PTAを交えての話し合いが必要と思うが、今後、本市では学校への持ち込みをどのようにすべきと考えるか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第5位</p> <p>阿部としゑ</p>	<p>2. 通学時の安全確保について伺う</p>	<p>近頃、高齢者のドライバーによる交通事故や横断歩道での交通事故など、子を持つ親にとって通学時の事故は特に心配である。学校では保護者やボランティアの方々に横断歩道に順番に立ってもらったり、集団登校させたりと全国的に子供の安全を守ってきた。</p> <p>こうした中、保護者・学校の想像を超える事件が先日、川崎市多摩地区の路上で起きた。スクールバスを待っていた児童・保護者等20人が襲われ、2人が亡くなり、多数の重軽傷者も出た。</p> <p>いつもの朝のように、学校へ向かったであろう何の落ち度もない子供等に悪魔のような男が事件を起こした。このような事件が日本でも起きるのか、どんなに怖かったことか。過去に大阪の池田小学校に包丁を持った男が侵入し、児童8人を殺害した事件を思い出した。国はその後、防犯カメラなどの設置や学校へ入る人は、名前等を記入するなどの安全対策を強化してきた。こうしたことから、通学路の安全対策にも目を向けなくてはいけないと思う。</p> <p>(1) この事件後、各学校への安全指導をどのように行ったか。</p> <p>(2) 今後、子供たちをどのように守るべきと考えるか。</p> <p>(3) 全国的には、スクールガード・リーダーが必要であると言われるが、人数はまだまだ集まっていない現状である。各地域自治組織の安心安全部会やコミュニティ・スクール、地域の方々の総合力が必要と考えるが、どのように連携を取るべきか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第6位</p> <p>五ノ井惣一郎</p>	<p>1. 教育振興について問う</p>	<p>教育長は、5月28日の臨時議会の就任の挨拶で教育振興に尽くすと挨拶されたが、本市の教育振興について、次の5点について伺う。</p> <p>(1) 教育方針について。</p> <p>(2) 本市が目指す学力向上の考えについて。</p> <p>(3) いじめ問題について。</p> <p>(4) 不登校に関する考えについて。</p> <p>(5) 本市は生涯学習に力を入れているが、生涯学習の取り組みについて。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第6位</p> <p>五ノ井惣一郎</p>	<p>2. 柳の目地区 開発事業を問う</p>	<p>石巻地方拠点地域基本計画に位置付けられた地区（必要な商業、流通等業務施設の立地整備が行われる見込みがある地区）が、石巻市境の赤井南二地区面積約17.3haの市街化区域への編入を保留する地区（一般保留地区）がある。柳の目地区の仙石線の南側は本市最後の災害公営住宅の建設が終わり、その西側は太陽光発電が建設された。石巻西校向かいの赤井南二地区は、震災後に大手企業から地元地権者に幾度か進出の説明がなされている。市境は合同庁舎も建設され石巻港インターからの小松・赤井線の道路の拡幅も進み赤井東部の土地利用は著しく変化する。赤井南二地区の開発事業の現在の状況と周辺の土地利用について何う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第7位</p> <p>上田 勉</p>	<p>1. 県立都市公園矢本海浜緑地整備の充実を図れ</p>	<p>大曲浜地区を中心とする移転地跡地利用として新矢本海浜緑地が整備され市長肝いりの「パークゴルフ場」、そして隣には従来の海浜公園が完成した。</p> <p>市民や多くの県民が待ちわびていた施設ではあるが、運営が始まってみると意外と問題点が見えてきている。</p> <p>現状を踏まえ、今後の施設整備の方向性や運営要領等について市長の考えを伺う。</p> <p>(1) パークゴルフ場について</p> <p>4月26日の開場以来、地元の愛好者をはじめ多くのプレイヤーが訪れている。私も何度か愛好会などの皆さんとプレーしたが、ご存じのように多くの問題を抱えている。早期に是正し、日本一の競技場として整備する必要がある。</p> <p>コース管理の現状と今後の対応について</p> <p>芝生管理、コース表示(距離・標識等の色合い等)、休養施設等備品の整備</p> <p>使用料の減免等について</p> <p>市内施設の使用時と同様の減免等の導入、回数券等の販売</p> <p>(2) 県の運営する海浜公園の整備運営について</p> <p>利用状況や事務所の対応を見ると、利便性や施設の管理の在り方に疑問がある。県との調整が必要である。</p> <p>施設運営・管理について</p> <p>管理事務所の運営、利用時間(特にバーベキュー施設利用時間)、利用者の安全管理および利用状況確認体制について</p> <p>規模拡大について</p> <p>休日等の利用者が非常に多いように思う。そのため敷地の拡大と遊具等の増設およびバーベキュー施設の風雨対策、利用施設の拡大についての考え方。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第7位</p> <p>上田 勉</p>	<p>2. キャッシュレス化に伴う市民の利用拡大施策を問う</p>	<p>10月1日の消費税率引き上げに伴い、平準化対策としてポイント還元・割引制度が始まる。</p> <p>元来、政府のキャッシュレス政策というのは、基本的にオリンピックを観戦するためにやってくる外国人向けの社会整備と捉えておけばいいとされているが、消費税率引き上げに伴い、2020年を目標とした計画であり、今の時点では着手されていない案件も多い。しかし、インターネットやQRコードを利用したの各種買い物は若い年齢層では今や常識であり、クレジットカードでの支払いは、着実に計画が進んでいることは間違いない。</p> <p>問題は、高齢者の対応やこれからキャッシュレス機能が進んだ時の現金での買い物が不便となってくることである。</p> <p>5月28日、商工会主催の「キャッシュレス・消費税還元事業説明会」があり聴講した。</p> <p>多くの市内事業者が参加しており、楽天・イオン・七十七銀行・ペイペイなどのキャッシュレス決済事業者からの説明があった。</p> <p>機器が導入されれば、時代の要請もあり、利便性が拡大する。</p> <p>市としても市民向けのキャッシュレス・クレジット決済について、メリットやデメリット、課題などを調査しながら、キャッシュレス化に向けて、庁舎内をはじめ関係部署の機器の導入等を含め対策が必要と思うが、市長の施策の方向性を問う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第8位</p> <p>小野 惠章</p>	<p>1. 教育方針、学校運営を問う</p>	<p>第4回臨時会での就任あいさつで、「多くの人の力を借り、教育振興に尽くす」と述べた。今後、東松島市の教育長として、どのような教育方針で臨むのか。また、どのような考えで学校運営を行っていくのか伺う。</p> <p>(1) 現在の東松島市にふさわしい教育方針、学校運営について。</p> <p>(2) 学力向上の取り組みについて。</p> <p>(3) 増加した不登校の解消について。</p> <p>(4) 望ましいコミュニティ・スクールの在り方について。</p> <p>(5) 教職員の働き方改革について。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第8位</p> <p>小野 惠章</p>	<p>2. 観光資源の発信力を高めよ</p>	<p>オルレ観光、パークゴルフ場の開設によって、着実に本市における交流人口の増加が図られている。その一方で、タイムリーなホームページの更新や観光施設の案内板等の設置が適切に行われていない。おもてなしの心に欠けるのではないか。</p> <p>(1) 市のホームページの更新は適切に行われているか。</p> <p>(2) 観光施設の案内板やルート表示の看板は十分か。</p> <p>(3) 観光客入込調査(年2回宿泊施設を対象に実施)は、市の観光施策にどのように反映されているのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第9位</p> <p>櫻井 政文</p>	<p>1 . 新天皇新皇后両陛下のご即位を祝う祝賀行事について</p>	<p>令和時代が華々しく幕を開け、國中、祝賀ムードが漂っている。10月22日には天皇ご即位を宣言する「即位礼正殿の儀」が行われ、また、この日には祝賀パレードが催される。</p> <p>については、当市は上皇后陛下のゆかりの地でもあり、新時代をことほぐ祝賀行事を企画されたいかがか。その所見について伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第9位</p> <p>櫻井 政文</p>	<p>2 . 自治会集会所のエアコン設置に際して、予算組みをする考えは</p>	<p>自治会集会所は地域コミュニティの場で集まる機会も多いが、エアコンがない酷暑期の集会は耐え難いものがある。ことに高齢者は熱中症の心配もある。</p> <p>窓を開けて扇風機を回している現状であるが、航空機が飛ぶと騒音で会話が聞き取れず、窓を閉めざるを得ない場合もある。今後、温暖化がますます進行し、夏の暑さは厳しさを増すものと思われる。</p> <p>集会所の全室のエアコン設置は、難しいと思われるが、大集会室だけでもエアコンの設置はできないものだろうか。自治会集会所は学校と同様に公共の施設であることから、ぜひ、設置の予算組みを講じていただきたいと考えるがいかがか。その所見について伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第9位</p> <p>櫻井 政文</p>	<p>3 . スマホ依存による諸問題について</p>	<p>文部科学省は2019年2月19日に小中学校スマホ持ち込み「原則禁止」から解禁へと方針を転換したとメディアで報じられた。</p> <p>しかし、この決定に対して疑問を感じざるを得ない。その理由はスマホ依存による学力や視力の低下、歩きスマホの事故、友人同士のトラブルなどが引き起こされているからである。そこで以下の点について伺う。</p> <p>(1) 当市の小・中学校でのスマホの持込に関するルールはどのように取り決めしているのか。</p> <p>(2) スマホは自己学習能力低下につながるとの識者の見方がある。学力や脳発達に悪影響を与えることについての見解は。</p> <p>(3) スマホといじめ、不登校、自殺率との因果関係について。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第9位</p> <p>櫻井 政文</p>	<p>4 . A I 時代に対応できる人材育成について</p>	<p>政府は本年4月17日にA I やデータ処理に強い人材の育成枠組みを2025年までに整備することを決定した。この背景にはわが国ではA I 関連人材が決定的に不足していて、このままでは米国や中国企業に産業競争力で置いていかれるどころか「A I 後進国」になりかねないという危機感があるからである。A I の人材育成については、初等中等教育における理数教育やプログラミング教育を充実する取り組みが重要と考える。</p> <p>そこで以下の件について伺う。</p> <p>(1) プログラミング教育のためのハード環境の整備は進められているようだが、プログラミングを教える教員をどう育てるか、また人員の不足はないか。</p> <p>(2) 学習の基盤となる読解力がA I 時代には必須だが、その体制づくりとどのようにして読解力のレベルをあげていくのか。</p> <p>(3) I C T 教育の基本は理数教育である。子供の理数離れを防ぎ、理数科目が好きになる施策についてはいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第10位</p> <p>手代木 せつ子</p>	<p>1. 学校給食残渣の資源化について</p>	<p>世界では、さまざまな理由により食事がとれず、栄養失調となり餓死している子供たちが大勢いる。そんな中、市内各小・中学校の給食残食率が平均12.65%もあるということを知り、驚愕した。</p> <p>昨年、民生教育常任委員会の所管事務調査で訪問した市内の小・中学校は、平成30年10月調べでそれぞれ4.06%、5.00%と、グッと低い数値であった。</p> <p>そこで以下の点について伺う。</p> <p>(1) 学校により残食に違いが出るのは、どのような理由が考えられるか。</p> <p>(2) PFI方式により堆肥化された学校給食の調理くずや食べ残しは市には還元されていない。</p> <p>SDGsを考える時、これはとても「もったいない」と思う。それが学校に戻り、花壇や畑に使用されれば、学校現場における「環境学習の機会」となり、また、地域の方々を巻き込んだ「協働教育」にも発展するのではないかと思うが、いかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第10位</p> <p>手代木 せつ子</p>	<p>2 . 総合案内受付の設置について</p>	<p>当市には、総合案内受付がない。合併前の旧矢本町時代には、正面玄関を入ると案内があったと聞いた。それが、今は存在しない。</p> <p>東松島市の顔、そして、住民へのサービスを考えた場合、やはり本庁舎玄関の正面に案内受付があるべきだと思うが、市長の所見を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第11位</p> <p>滝健一</p>	<p>1. 子供の命と健康を守ろう</p>	<p>最近、子供を取り巻く学校、家庭、地域の様子を巡ると「命と健康」に関わる課題が多発する傾向にある。子供同士のいじめによる通学拒否や自死、我が子をいとおいと感じる感情が抱けなくなる親のボンディング障害や虐待、教員からの体罰や指導死、通学時の変質者による惨劇などの問題である。いつ本市にも降りかかるかと思うと、極めて深刻である。</p> <p>子供の命と健康を守る観点から次の件について、市長ならびに教育長の所信の程を伺う。</p> <p>(1) 子供の「命と健康」を守る課題の解決と逆行するような現実の広がりがある。本市においては、こうした現実の広がりを抑え、命と健康を守るための環境づくりを常に追求する策をどのように考えるか。</p> <p>(2) 宮城県と県教育委員会は、川崎市での先月28日朝の小学生ら20人に及ぶ殺傷事件で県内の市町村教育委員会などに児童生徒の通学時の安全確保を徹底するよう求める通知をした。これをどのように受け止めているか。</p> <p>(3) 中央教育審議会は1月、子供の登下校の見守りは「学校以外が担うべき業務」と提言している。子供たちの安全を守るためあらゆる知恵を結集しなければならない。何よりも地域の力が不可欠とも言われている。どのようにして進めているか伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第12位</p> <p>長谷川博</p>	<p>1.市営住宅の管理・運営について</p>	<p>本市の災害公営住宅は、平成30年度末に柳の目西地区住宅100戸が完成、17地区1,101戸の整備を完了した。</p> <p>柳の目西地区住宅では入居申し込みが低調であったことから、4月末、空き室の一般公募を実施した。</p> <p>(1)その結果はどのようであったか。</p> <p>(2)災害公営住宅全体の入居率はどうなっているのか。</p> <p>(3)現時点における団地ごとの空き室はどのような状況か。</p> <p>(4)今後の入居募集の見通しはどうか。</p> <p>一方で、既存の市営住宅は8団地399戸、そのうち小松、牛網別当、小野新道住宅の3団地171戸が耐用年限を超過しており、現状では、小松、牛網、北浦アパートは新規の入居募集は行わず、政策的な空き家として管理している。加えて、今後は入居者の意向を踏まえ移転・集約化を行い、段階的に建物を解体するとの方針も示されている。</p> <p>今後、移転・集約に向けた具体的な取り組みはどのように行われるのか伺う。</p> <p>また、本市ではこれまで災害公営住宅と既存の市営住宅の管理業務を宮城県住宅供給公社に委託してきたが、柳の目西地区住宅の100戸については市が直接管理を行い、将来的には宮城県住宅供給公社との協定期間終了をめぐり市営住宅の全戸数1,500戸を直接管理運営するとしている。</p> <p>めどとする時期はいつで、震災前に比べて大幅に増加した入居者に対して良好な住宅環境をサポートする体制をそれまでの間にどのように整備されるのか伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第12位</p> <p>長 谷 川 博</p>	<p>2. 防災盛り土の保全等について</p>	<p>未曾有の被害をもたらした東日本大震災の経験から、津波被害を低減させるため、本市では三線堤による津波防御を構築。その一つとして、矢本市街地への津波を防御する位置づけで、松島基地のかさ上げと連携して基地周囲の新沼・中田地内に防災盛り土が整備されている。堤体は保護シートで被覆され、時間の経過に従って安定化し強度を増していくものと推測される。ところが、保護シートで覆われた堤体法面の端部には雑木が根を張り成長が著しい。防災盛り土の延長約400メートルの北側法面の3分の2余りが顕著で、大きいものでは樹高約3メートル、幹の直径5～6センチメートルにもなっている。将来にわたる防災盛り土保全の観点から、現状を良しとするものか。</p> <p>併せて、近接する未整備の市道新沼54号線の法面も雑草が過繁茂している状態である。未整備の路線とはいえ、現状のまま放置はいかかなものであろうか。</p> <p>8月には、夏祭り、航空祭のイベント実施が予定され、市街地や基地周辺に多数の市民・観光客を迎えることになる。ともに早急な整備を行うべきと考えるがどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第13位</p> <p>佐藤 富夫</p>	<p>1. 「働き方改革」により、行政経営にどう反映させるか</p>	<p>働き方改革は少子高齢化、増高する社会保障費、労働人口の減少など、深刻な社会問題に対する一方策として、政府が提唱、法整備されたものである。</p> <p>当初は企業に対するものが主眼であったが、公務員に対しても2019年以降、法改正と並行して運用が開始され、本市においては同法の研修および労務管理などの説明会を開催したと聞いている。</p> <p>(1) 働き方改革は行財政改革とリンクするものであるが、国は7つの具体的な取り組みを掲げているが、内5つについて、どう行政経営に反映させるか、所見を伺う。</p> <p>非正規雇用者(常用雇用、非常用雇用)の取り扱いと待遇差改善。</p> <p>長時間労働の是正。</p> <p>柔軟な働き方の出来る環境づくり。</p> <p>ダイバーシティの推進。</p> <p>労働生産性(業務遂行能力向上)と正規職員の待遇について。</p> <p>(2) 前述のように研修等、前向きに取り組んでいるようであるが、主旨徹底の意味での今後の方針について。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第14位</p> <p>小野 幸男</p>	<p>1. 産業部所管に関わる取り組みを問う</p>	<p>先月半ば頃に開催された漁協青年部の総会において、将来のあさり漁場の復活を目指し牡蠣殻を粉碎した外敵駆除の計画が示された。観光振興にも大きく期待されることと思われるが、今後の漁業や観光振興に関わる問題を問う。</p> <p>(1) あさり漁場への牡蠣殻は再利用に貢献できると思料されるが、計画概要は。 また湾内に放棄されている使用済みの竹の処分に多額の費用がかかると聞き及んでいる。年々増加する竹の処分についてどのような対応をするのか。 この問題については、青年部の漁業者より、焼却処分後に竹炭として海の浄化に再利用できないかとのアイデアが出ているがいかがか。</p> <p>(2) オルレを皮切りに交流人口の増加で当市の観光振興も喜ばしく活性化し、私自身も日々日常の中でも肌で感じている。 一方で、観光地全体を見渡してみると環境整備に手が回っていないように痛感している。地区ごとの整備もあり今後の取り組みも心配される。 この際、観光特区のような形での整備等が望まれるが市長の考えを伺う。</p> <p>(3) あおみなの研修施設も農業者から漁業者も含め拡大され今後の取り組みも期待されるが、今後の利用者増をどのように図っていくのか伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第14位</p> <p>小野幸男</p>	<p>2. 新教育長の所見を伺う</p>	<p>志小田教育長は、数多くの学校を歴任し、この度、東松島市の教育行政に粉骨砕身、頑張ってもらえるものと確信している。</p> <p>小・中学校の取り組みも多様化する傾向にあることから、意思の疎通も兼ね、教育方針について2点伺う。</p> <p>(1) 東京都千代田区立麹町中学校の^{くどうゆういち}工藤勇一校長の学校の当たり前をやめた教育改革についての教育長の所見を伺う。</p> <p>(2) 前任の工藤教育長とも議論してきた、いじめ問題等への対応について、^{きぜん}毅然と取り組んでもらいたく、教育長の方針を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>